平成30年度 戦略3重点支援プロジェクト一覧（授業活動）

取組	研究テーマ	PJ担当者	実施内容
1-1	**山陰の地域課題研究を通じた人口希薄化社会の新たな価値発見・創造のための教育研究プログラム**	地域学部	以下の各プロジェクトを実施するもの
	③クリエイティブ地域創生のメカニズムに関する教育研究【名称変更】	野田　邦弘 特命教授	アートプロジェクトホスピテイルを、文化による地域活性化をテーマとしたPBLの取組として、体制を強化して継続する。（地域とクリエイティビティ研究会の開催、クリエイティブ人材集積と地域の活性化に関し『地域とクリエイティビティ（仮称）』を出版）
	④移動するゼミによる居候型サテライトキャンパス試行プロジェクト	五島　朋子 教授	うかぶLCCとの連携合同ゼミにおいて、「人とモノの関係」に焦点をあて、これらの人とモノに関する情報の収集と記録、編集、発信について、フィールドワーク等をプロジェクトとして学生主体で実施するほか、合同ゼミ「にんげん研究会」を実施。また、アートスペースからふると連携したデザインプロジェクトを実施。「にんげん研究会」を実施
	⑦地方創生人材の教育開発に関する研究	東根　ちよ 講師	鳥取県職員人材開発センターやとっとり県民活動活性化センターと協働で、ワークショップやプロボノの手法を用いた地域づくり講座を実践し、教育プログラムを開発する。
	⑩地域系高校の実践型教育を支える地域リテラシーモデルの構築	藤井　正 教授	兵庫県立村岡高校の地域創造教育のアンケート、地域実践教育で収集した情報の分析を進め、理論的な検討・評価を加えて実践型教育を支える地域リテラシーモデルとして一般化する。
	⑫「鳥取のうた」継承の教育研究プログラム	鈴木　慎一朗 准教授	「鳥取のわらべうた」のフィールド調査を学生参画で行う。「鳥取のわらべうた」の実践状況について、鳥取市内の全小学校においてアンケート調査を実施する。さらにDVD教材も開発する。
	⑬歴史資料を活かした鳥取市街地の魅力発見プロジェクト	岸本　覚 教授	①鳥取城下町に関する資料を学生とともに発掘・整理し、その中から重要資料を刊行。その資料集を地域創生プログラム授業「鳥取の歴史と文学」に活用し、地域の歴史と文学についての魅力を伝える。②県立博物館・鳥取市街地活性化協議会・日本海テレビ等と連携してアプリ「こちずぶらり」を使った街歩きを実施。新たな資料（県博所蔵古写真・鳥取市広報課所蔵）等を利用しながら、学生・市民を巻き込んで町の魅力を再発見。

取組	研究テーマ	PJ担当者	実施内容
1-3	**山陰の地域課題研究を通じた人口希薄化社会の新たな価値発見・創造のための教育研究プログラム**	医学部	以下の各プロジェクトを実施するもの
	人口希薄化社会に対応した地域医療人人材育成 ～くろさかセミナー	谷口　晋一 教授	多職種協働・地域包括ケア・地域医療を実践する専門職には、多様な価値観を受容し、自分の価値観とは違う他者との対話をし続けることが求められていることから、その実践力を育み、多職種連携教育プロ グラムを構築し、さまざま専門職を目指す学生が協働して、地域の行事などに参加し、その地域にいる住民と対話を行うカリキュラム（日野町黒坂）を実施する。
	地域在住高齢者の認知症予防（社会医学チュートリアル実習）	天野　宏紀 講師	鳥取県琴浦町で実施されている地域高齢者を対象とした認知症予防活動に参加し、実践的な体験を通して地域での認知症予防対策について理解を深める。